

ボランティアだより

ほのボラ

2020年8月発行 No. 83

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>

社協キャラクター



夏場の健康教室

サロンや老人会などで町保健師による「夏場の健康教室」が開催されています。「元気で過ごすために～今、私たちが心がけること～」をテーマとして、夏場の健康管理やマスクの正しい付け方など感染症予防についての話がありました。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くのサロンが開催を自粛されていたので、皆さん顔を合わせると、「久しぶりやな」「元気にしてたか?」と互いに声をかけ合い笑顔が広がっていました。サロン開催にあたっては、検温や手指消毒、窓を開け、しっかり換気するなど感染予防を意識しながら開催されています。



アロハ・フラ・ピカケ

【活動紹介】高齢者施設や敬老会などでフラダンスを通じて元気を届けています！

マスク、消毒液、ガイドラインチェック表、検温、「大声を出さない!」の貼り紙など、新型コロナウイルス感染予防対策をし、活動を再開されています。

会員さんは「マスクをしながらの踊りはしんどいですが、みんなの顔が見れて嬉しいです。グループで『笑顔』を大事に貼り紙もしています。」と話されていました。



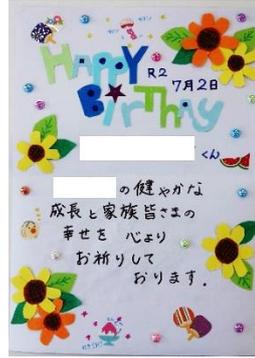
ボランティアインタビュー

53



お誕生カード作り

京丹波町内で誕生された赤ちゃんに
手作りのお祝いカードを作っています。



たけよ みき
竹吉 美公さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？
「知り合いの方からの紹介を受け、作る事への
興味もあったので参加させて頂きました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？
「京丹波町に新たな命が誕生された事をお祝いさせて
頂ける機会があることにとても嬉しく思っています。」

可愛く作って
頂いています。



Q3 あなたにとってボランティアとは？
「地域や様々な人との繋がりであり、そこに関わる自分自身もスキル
アップになり、また、心身ともにパワーを頂ける場だと思っています。」



しもむら かずえ
下村 嘉寿恵さん

ボランティアインタビュー

54



とみかい 十三の会 共同作業

所和知支所での作業支援。
女性会員は毎週木曜日に
ネギ掃除のお手伝い。男性
会員は毎週火曜日にアル
ミ缶回収のお手伝い。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？
「以前より時々ネギ掃除のお手伝いをさせてもらっていたので、民生委員を辞めた時に
お誘いを受け、十三の会に参加しました。」

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？
「かつて支援学校で働いていた当時の卒業生がしっかり仕事をしている姿が見られ、
毎月会えるのを楽しみにしています。教えられる事も多々あります。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？
「生きがいです。私も人の役立つ事が出来るという喜びもあります。」

【ご紹介しています団体は一緒に活動してもらえる方を随時募集しています。詳しくは地域福祉課まで】

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課（湊・榎川・山崎）
丹波支所 ☎82-0126 和知支所 ☎84-1833